（別添資料１）

事業所名　石垣まぁ～るのいえ

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念		子どもたちが安心して過ごせるもうひとつのいえ			
支援方針		子ども一人ひとりの発達支援のほか、安心できる環境での集団行動など、社会生活を通して子どもの”できること”と世界を広げていく			
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	必要に合わせ定時での排泄誘導、口腔機能向上のためのマッサージや飲水、おやつを利用した摂食を援助します。 パーテーションを利用する等、子どもが自分のことに集中しやすい環境を作ります。 絵や文字を使ったスケジュールボードで可視化を図り、予定をわかりやすく伝えます。			
	運動・感覚	感覚統合遊び（トランポリン、平均台、スイング等）を通して周囲の環境に合わせた姿勢、行動ができるための体幹作りを基礎から実施します。 より良い姿勢で活動が行えるよう、各々に合わせた机と椅子をセッティングします。			
	認知・行動	マッチング課題や触覚遊び等、様々な課題を通して認知機能の発達を促します。 発達段階に応じた数や時計の課題を提示し、空間・時間、数などの概念形成を習得します。 スケジュールの可視化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促します。			
	言語 コミュニケーション	季節の歌、絵本の読み聞かせを通じて、様々な言葉に触れる機会を提供します。運動遊びの中で本人が感じている感覚を言語化して聞かせることにより、体験と言葉を結び付け、ジェスチャー等の非言語コミュニケーションも活用しながら、遊びを通じて自発的な要求を引き出すよう促します。 指導員と適切な関係の中で、必要に応じ１対１のやり取りを行い、コミュニケーションの基礎となる、注目・追視・動作模倣・共同注意等を促します。			
	人間関係 社会性	安定したアタッチメント形成のため、ふれあい（触覚）遊びを大切にしています。 指導員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通じて、人の動きを模倣することを促します。 小集団遊びを通じ、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援します。			
家族支援		子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 子育ての困りごとへの相談援助	移行支援	学校・関係機関との連携	
地域支援・地域連携		地域学童との交流 子育て支援機関との連携 子どもが通う園との連携	職員の質の向上	定期的な研修	
主な行事等		季節に応じた制作活動・遠足・プール（夏）			